

# 2009年 インドネシアの 選挙

ユドヨノ再選の背景と  
第2期政権の展望



本名 純・川村晃一編



【情勢分析レポート No.14】

# 2009年インドネシアの選挙

——ユドヨノ再選の背景と第2期政権の展望——

本名 純  
川村 晃一 編

アジア経済研究所

## 目 次

### 略語一覧

## 序 章 インドネシアにとって2009年選挙とは何だったのか

……………本名 純・川村晃一 [1]

- はじめに 3
- 第1節 2009年総選挙・大統領選挙の意義 4
- 第2節 議会選挙と大統領選挙の制度 6
- 第3節 本書の構成 8

## 第1章 国会議員選挙

——民主主義者党の勝利と業績投票の出現—— ……川村晃一・東方孝之 [13]

- はじめに 15
- 第1節 総選挙参加政党 15
- 第2節 国会議員選挙の結果 18
- 第3節 有権者の投票行動の定量的分析 25
- おわりに 31

## 第2章 大統領選挙

——ユドヨノ再選の権力政治と動員プロジェクト—— ……本名 純 [39]

- はじめに 41
- 第1節 「第3の候補」とゴルカル・ポリティックス 41
- 第2節 ペアリング・ポリティックス 45
- 第3節 キャンペーン・ポリティックス 49
- おわりに 53

## 第3章 過失か故意か——選挙運営の不備と混乱—— ……相沢伸広 [57]

- はじめに 59
- 第1節 有権者名簿の不備と噴出する不満 59
- 第2節 非拘束名簿導入の憲法裁判決とその影響 64
- 第3節 議席確定方法をめぐる混乱 66
- 第4節 総選挙委員会の選挙運営能力の欠如 68
- おわりに 70

## 第4章 政党・候補者の「創造」——民主化と選挙コンサルタント業——

.....岡本正明 [73]

はじめに 75

第1節 選挙広告のはじまり、そして急拡大——1999～2009年—— 76

第2節 おもな選挙コンサルティング業者 77

おわりに 87

## 第5章 2009年国会議員にみるインドネシアの政党政治家と政党の変化

.....森下明子 [91]

はじめに 93

第1節 集票能力の高い候補者たち 93

第2節 各政党の特徴と党内勢力関係の変化 97

おわりに 106

## 第6章 イスラーム化の進行とイスラーム系政党弱体化の矛盾

.....見市 建 [109]

はじめに 111

第1節 インドネシアにおけるイスラーム系政党 112

第2節 イスラーム系政党後退の理由は何か 114

第3節 イスラーム系政党を選ぶとはどういうことか  
——世論調査から—— 119

第4節 地方の投票動向から 122

おわりに 127

## 第7章 第2期ユドヨノ政権の成立.....本名 純・川村晃一 [131]

はじめに 133

第1節 選挙後の政党政治とユドヨノの和解政治 133

第2節 第2次一致団結内閣の発足 138

第3節 内政の重要課題 142

## 第8章 第2期ユドヨノ政権の経済政策と課題 .....佐藤百合 [149]

はじめに 151

第1節 ユドヨノ政権期のインドネシア経済——現状と展望—— 151

第2節 第2期ユドヨノ政権の経済閣僚 153

第3節 第2期ユドヨノ政権の経済政策 156

第4節 持続的成長への課題 166

おわりに 168

付属資料..... [173]

資料1. 総選挙基礎統計 175

資料2. 2009年総選挙参加政党一覧 176

資料3. 2009年国会議員選挙の結果 178

資料4. 2009年大統領選挙の結果 189

資料5. 第2次一致団結インドネシア内閣閣僚名簿 190

## 執筆者一覧（\*編者）

### \*本名 純（ほんな・じゅん）[序章、第2章、第7章]

立命館大学国際関係学部教授。

主な著書として、『*Military Politics and Democratization in Indonesia*, Routledge, 2003、「インドネシアにおける犯罪との戦い」（日本政治学会編『年報政治学2009-II 政治における暴力』木鐸社、2009年）など。

### \*川村 晃一（かわむら・こういち）[序章、第1章、第7章]

日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター研究員。

主な著作として、「1945年憲法の政治学」（佐藤百合編『民主化時代のインドネシア』アジア経済研究所、2002年）、『インドネシア総選挙と新政権の始動』（松井和久と共編）明石書店、2005年など。

### 東方 孝之（ひがしかた・たかゆき）[第1章]

日本貿易振興機構アジア経済研究所在ジャカルタ海外研究員。

主な著作として、「インドネシアの世帯間所得格差に関する一考察」『経済論叢』第182巻第2号、2008年、「インドネシア：再生した亀裂投票と不明瞭な業績投票」（川村晃一と共著、間寧編『アジア開発途上諸国の投票行動』アジア経済研究所、2009年）など。

### 相沢 伸広（あいざわ・のぶひろ）[第3章]

日本貿易振興機構アジア経済研究所在米国イサカ海外研究員。

主な著作として、『華人と国家——インドネシアの「チナ問題」——』書籍工房早山、2010年など。

### 岡本 正明（おかもと・まさあき）[第4章]

京都大学東南アジア研究所准教授。

主な著作として、「Jawara in Power, 1998-2007,” *Indonesia* Vol. 86, 2008、「インドネシアにおける市民社会の可能性」（田坂敏雄編『東アジア市民社会の展望』お茶の水書房、2009年）、「Populism under Decentralization in Post-Suharto Indonesia,” in Kosuke Mizuno and Pasuk Pongpaichit, eds., *Populism in Asia*, Kyoto University Press, 2009 など。

### 森下 明子（もりした・あきこ）[第5章]

日本学術振興会特別研究員 PD(京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科)。2010年1月より、在マレーシア日本国大使館専門調査員。

主な著作として、「ポスト・スハルト時代のインドネシア国会議員」『東南アジア研究』第45巻第1号、2007年、「Contesting Power in Indonesia's Resource-Rich Regions in the Era of Decentralization,” *Indonesia*, Vol. 86, 2008 など。

#### 見市 建（みいち・けん）[第6章]

岩手県立大学総合政策学部講師。

主な著作として、『インドネシア イスラーム主義のゆくえ』（平凡社、2004年）、「『テロリスト』の来歴——インドネシアにおける武装闘争派の思想と行動——」（森孝一編『ユダヤ教・キリスト教・イスラームは共存できるか』明石書店、2008年）など。

#### 佐藤 百合（さとう・ゆり）[第8章]

インドネシア商工会議所特別アドバイザー（日本貿易振興機構アジア経済研究所主任研究員）。

主な著作として、『民主化時代のインドネシア』（編著）アジア経済研究所、2002年、『インドネシアの経済再編』（編著）アジア経済研究所、2004年、「インドネシアの企業セクター再編」『アジア研究』第54巻第2号、2008年など。

【表紙の写真】

- 上 北スマトラ州メダンで行われた集会に集まったユドヨノの支持者たち  
〔提供：ロイター／アフロ〕
- 下 就任式を終え記念撮影に臨むユドヨノ大統領、プディオノ副大統領と第2次一致団  
結インドネシア内閣の閣僚〔提供：ロイター／アフロ〕

[情勢分析レポートNo.14]

2009年インドネシアの選挙

——ユドヨノ再選の背景と第2期政権の展望——

2010年3月29日発行©

定価 [本体1800円+税]

編者 本名 純・川村 晃一

発行所 アジア経済研究所

独立行政法人日本貿易振興機構

千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2 〒261-8545

研究支援部 電話 043-299-9735

FAX 043-299-9736

E-mail: syuppan@ide.go.jp

<http://www.ide.go.jp>

印刷所 岩橋印刷株式会社

表紙デザイン 岩橋印刷株式会社

落丁・乱丁本はお取り替えいたします。

無断転載を禁ず

ISBN978-4-258-30014-3

情勢分析レポート No.14

ISBN978-4-258-30014-3  
C3331 ¥1800E



9784258300143

定価(本体 1800 円+税)



1923331018003



## 2009 年インドネシアの選挙

—ユドヨノ再選の背景と第 2 期政権の展望—

本名 純・川村晃一編